

オルフオイス IV

君が逢へた時に  
豎琴は草の上に置いたらうか  
愛するものの ひざの上に  
あるひは置いたのではないだらうか

豎琴の上に落ちる涙が  
しづかにかなでた歌さへが  
君のいつもの調べであつたらう  
君は愛するものをひざの上に

抱きあげて  
樹蔭で  
時をすごしたのだらう

あの不幸のやつて来るまへに  
君は 澄んだ青い空を見上げたりして  
オルフオイスよ 時はすぎて行く